

公益社団法人日本化学療法学会 2025年度総会資料

2025年5月9日（金） 13:00～14:00

パシフィコ横浜ノース 第1会場（G3）

議 事

- 第1号議案 2024年度事業報告および財務諸表承認の件
- 第2号議案 2025年度事業計画および予算報告の件
- 第3号議案 次期会長承認の件
- 第4号議案 次々期会長候補者推薦の件
- 第5号議案 次々期総会開催地および会期の件
- 第6号議案 名誉会員推薦の件
- その他

物故会員御氏名

2024年	5月27日	今西 康次
	7月 1日	嶋田甚五郎 (名誉会員)
	7月14日	齋藤 篤 (名誉会員)
	9月18日	川村 修
	10月30日	柴 孝也 (名誉会員、元理事長)
2025年	2月25日	渋谷 泰寛
	2月26日	佐藤 裕基
	3月16日	清水喜八郎 (名誉会員、元理事長)

第1号議案 2024年度事業報告、財務諸表及び収支決算書承認の件

事業報告

(1) 学術集会および会務

A) 学術集会

1. 第72回総会（2024年6月27日～29日）
会場：神戸国際会議場、神戸国際展示場1号館
会長：迎 寛（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野）
2. 第71回東日本支部総会（2024年10月17日～19日）
会場：東京ドームホテル
会長：木村利美（順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部）
3. 第72回西日本支部総会（2024年11月14日～16日）
会場：神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル
会長：掛屋 弘（大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）
4. 関連国際学会として
33rd International Congress of Antimicrobial Chemotherapy (ICC)
2024年11月3日～6日（トルコ）

B) 会務

1. 年度末正会員数 8,342名
年度末賛助会員数 19団体、団体会員数 85団体
2. 2024年度評議員会は2024年6月27日に、同定期総会は6月28日に神戸国際展示場で開催された。
3. 新評議員（2024年4月～2025年3月）
東日本支部6名（現在 195名）
木村 宗芳（虎の門病院臨床感染症科）
小松 敏彰（北里大学病院薬剤部／危機管理部感染対策室）
馳 亮太（成田赤十字病院感染症科）
平井 潤（日本医科大学千葉北総病院感染制御部）
吉藤 歩（慶應義塾大学医学部感染症学教室）
渡邊 哲（千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野）

西日本支部5名（現在 197名）
江口 洋（近畿大学医学部眼科学教室）
岡田 直人（山口大学医学部附属病院薬剤部）
加藤 秀雄（三重大学医学部附属病院薬剤部）
田中 健之（長崎大学病院感染制御教育センター）
八木 祐助（高知大学医学部附属病院薬剤部・感染管理部）

4. 理事会 6 回開催

2024年4月、6月（2回）、9月、12月、2025年3月

C) 事業報告

1. 編集委員会

1) 日本化学療法学会雑誌（委員長 荒岡秀樹）

・編集委員会 7回開催

・編集状況

2024年 第72巻3号～6号

一般誌 4冊（掲載論文数8編）

総説1編、原著4編、症例報告1編、短報2編

2025年 第73巻1号～2号

一般誌 2冊（掲載論文数4編）

症例報告2編、委員会報告2編

新薬特集号（Cefiderocol）総説8編

その他編集中 1冊

- ・各総会の一般演題の中から編集委員会推薦の演題を選び、推薦論文の依頼を行った。
- ・投稿規程の改訂作業を始めた。
- ・「新編集委員長より」において、新編集委員会として当面重点を置いて取り組む編集方針を公表した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy（委員長 泉川公一）

・編集状況

2024年

Vol. 30 No. 4～12（掲載論文数 174編）

2025年

Vol. 31 No. 1～3（掲載論文数 158編）

- ・Reviewer of the Yearを選考し、前田真之評議員（昭和医科大学薬学部臨床薬学講座）が受賞した。
- ・JIC Award受賞

Tomoyuki Ishigo, Satoshi Fujii, Yuta Ibe, Tomohiro Aigami, Keita Nakano, Masahide Fukudo, et al.

「Flowchart for predicting achieving the target area under the concentration-time curve of vancomycin in critically ill Japanese patients: A multicenter retrospective study」 (Vol. 30 No. 4 p. 329-336)

3) 用語委員会（委員長 重村克巳）

抗菌化学療法用語集改訂版をホームページ公表した。

2. 学術委員会（委員長 浜田幸宏）

- ・学術奨励賞受賞者

第 72 回学術集会

基礎部門

高田 慎吾（北海道科学大学 薬学部 薬物治療学分野）

「Piperacillin/tazobactam の併用が vancomycin 誘発腎毒性に及ぼす影響
～近位尿細管上皮細胞を用いた検討～」

臨床部門

田中 康大（佐世保市総合医療センター呼吸器内科／

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻呼吸器内科学）

「九州における肺 NTM 症の多施設共同後ろ向き研究：肺 MAC 症に対する
治療実態と予後の検討」

日本化学療法学会雑誌 第 72 巻 6 号 p.568-576, 2024

先崎 貴洋（日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部／感染制御部）

「Tazobactam/piperacillin と vancomycin または teicoplanin 併用療法における
重症度を加味した急性腎障害発生率の多施設検討」

Journal of Infection and Chemotherapy Vol.30 (10) p.1054-1060, 2024

井本 和紀（大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）

「Evaluating the association of body mass index with COVID-19 severity and
mortality using Japanese administrative claims data」

3. 学会賞選考委員会（委員長 掛屋 弘）

志賀潔・秦佐八郎記念賞、上原感染症・化学療法研究奨励賞および新規創設の
Young Challenger Award の選考を行った。なお、上原感染症・化学療法研究奨励賞
に関しては、2024 年度で応募を終了することになった。

志賀潔・秦佐八郎記念賞

受賞者：石井良和（広島大学国際連携機構環境遺伝生態学分野）

研究テーマ： β -lactamase に関する分子生物学的・生化学的・構造生物学的手法を
用いた包括的研究

上原感染症・化学療法研究奨励賞

受賞者：川元康嗣（長崎大学病院検査部）

研究テーマ：緑膿菌感染症の適切な治療薬選択の確立に向けた次世代シーケンサー
による薬剤耐性遺伝子検出法の開発

Young Challenger Award

受賞者：石郷友之（札幌医科大学附属病院薬剤部）

研究テーマ：抗菌薬の適正使用に関するエビデンスの創出

受賞者：田代 渉（大分大学医学部附属病院薬剤部）

研究テーマ：多剤耐性菌感染症の克服を目指した基礎から臨床と臨床から基礎への
シームレスな研究への挑戦

受賞者：朝居祐貴（三重大学医学部附属病院薬剤部）

研究テーマ：Albumin-Bilirubin スコアを活用した抗微生物薬誘発性肝障害の予防

戦略確立：臨床と基礎研究を用いた多角的アプローチ

受賞者：定平卓也（岡山大学病院泌尿器科）

研究テーマ：膣から紐解く反復性膀胱炎の病態解明と乳酸菌膣坐剤の実用化

受賞者：五十嵐裕貴（横浜総合病院薬剤部）

研究テーマ： β -ラクタム薬/ β -ラクタマーゼ阻害薬の併用療法における *in vivo* pharmacokinetics/pharmacodynamics 評価方法の構築

4. 国際渉外委員会（委員長 大毛宏喜）

- ・2024年11月3日～6日にトルコ（イスタンブール）で33rd International Congress of Antimicrobial Chemotherapy (ICC)が開催され、当学会との共催シンポジウム「Antimicrobial resistance and one health」を行った。
- ・2026年11月9日～12日にマニラ（フィリピン）で34rd International Congress of Antimicrobial Chemotherapy (ICC)が開催される予定であり、当学会との共催シンポジウムを検討した。

5. 薬剤感受性検査検討委員会（委員長 荒岡秀樹）

Lascufloxacin のディスク拡散法の精度管理限界値と臨床的ブレイクポイントの設定について検討し、東日本合同学会および西日本合同学会にて委員会報告を行った。また、日本化学療法学会雑誌 Vol.73 (2) に委員会報告として掲載した。

6. プロバイオティクス製剤適正使用検討委員会（委員長 森永芳智）

委員会においてプロバイオティクス製剤の使用状況に関するアンケート調査の解析を行った。

7. 抗菌化学療法認定医認定制度審議委員会（委員長 堀野哲也）

- ・抗菌薬適正使用生涯教育セミナー開催

年次テーマ：適正使用の流儀：Going David!

第70回 2024年6月27日（木）神戸国際会議場

第71回 2024年8月24日（土）東京国際フォーラム

第72回 2024年10月17日（木）東京ドームホテル

第73回 2024年11月14日（木）神戸国際会議場

- ・第71回セミナーの映像を収録し、e-learning を実施した。
- ・委員会を数回開催した。
- ・2024年11月30日（土）に砂防会館別館シェーンバッハ・サボーで指導医試験を実施した。
- ・本年度認定医・認定歯科医師の新規申請、認定更新申請を受付し、認定した。
- ・2025年1月1日付けで認定証を発行した。

8. 抗菌化学療法認定薬剤師制度委員会（委員長 木村利美）

- ・第28回講習会は日本TDM学会にあわせて2024年7月13日（金）にTKP札幌駅カンファレンスセンターで開催し、第29回講習会は日本医療薬学会にあわせて

2024年11月3日(日)にトーセイホテル&セミナー幕張で開催した。

- ・認定薬剤師試験を2025年1月26日(日)に砂防会館別館シェーンバッハ・サボールで実施した。
- ・2025年3月1日付で認定薬剤師を認定した。

9. 外来抗感染症薬認定薬剤師認定委員会(委員長 藤村 茂)

- ・認定試験問題の追加作題およびブラッシュアップを実施した。
- ・外来抗感染症薬認定薬剤師試験を2024年12月8日(日)に実施した。
- ・2025年3月1日付で認定薬剤師を認定した。

10. 四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会(実務委員長 高橋 聡)

1) 第10回(2018年)

- ・歯科口腔外科領域(2回目)

全国21施設から収集した515株の感受性測定結果について、JICに投稿した。

2) 第12回(2020年)

- ・単純性膀胱炎(3回目:19薬剤、目標400株)

全国42施設から収集した569株の感受性測定結果についてJICに投稿し、2024年Vol. 30(4)に掲載された。

- ・複雑性尿路感染症(4回目:39薬剤、目標800株)

全国32施設から収集した608株の感受性測定結果についてJICに投稿し、2024年Vol. 30(7)に掲載された。

- ・耳鼻科領域感染症(3回目:41薬剤・目標1000株)

全国37施設から収集した377株の感受性測定結果を日本感染症学会・日本化学療法学会合同学会(2024年6月・神戸)で報告した。

3) 第13回(2021年)

- ・小児科領域感染症(2回目:32薬剤・目標1,000株)

全国18施設から収集した1,498株の感受性を測定し、遺伝子検査を実施した。

4) 第14回(2022年)

- ・呼吸器感染症(10回目:目標1,100株、43薬剤)

全国28施設から収集した1,057株の感受性を43薬剤で測定し、成績を日本感染症学会・日本化学療法学会合同学会(2024年6月・神戸)および日本臨床微生物学会(2025年1月・名古屋)で報告した。

- ・手術部位感染症(SSI)(4回目:目標1,000例、44薬剤)

全国18施設より収集した855株について感受性測定を行い、成績を日本臨床微生物学会(2025年1月・名古屋)で報告した。

5) 第15回(2023年)

- ・歯科・口腔外科領域(3回目: *Streptococcus* spp. 32薬剤、嫌気性菌調査薬剤19薬剤、目標400株)

全国23施設で実施していたが、嫌気性菌(とくにポルフィロモナス属)の株数が少なかった為、研究期間を2025年2月末まで延長した。

- ・*Clostridioides(Clostridium) difficile*感染症(第1回:5薬剤、目標200株)

全国10施設から収集した129株の感受性を測定した。

- 6) 第16回(2024年)
 - ・皮膚科(3回目:目標1,000株、34薬剤)
全国55施設で菌株収集を実施することになった。
 - ・産婦人科(1回:200株、64薬剤)
全国15施設で菌株収集を始めた。
 - 7) 菌株収集の輸送について
2010年から2016年までに収集した12,594株を北里大学から国立感染症研究所薬剤耐性研究センターへ輸送した。
 - 8) ホームページの更新
四学会合同事業となった為、ホームページをリニューアルした。
11. 真菌サーベイランス委員会(委員長 掛屋 弘)
真菌血症の検出菌における抗真菌薬感受性サーベイランスを2年間の予定で実施することになった。
 12. レジオネラ治療薬評価検討委員会(委員長 宮下修行)
成人肺炎診療ガイドライン2024では、適正抗菌薬使用(AMR対策)の観点からレジオネラ診断予測スコアの活用が推奨されており、本スコアの有用性を前向きに検討する必要がある為、2年間で集積した新型コロナウイルス・オミクロン株肺炎症例と30年間で集積したオウム病症例を対象にレジオネラスコアの有用性を検討し、委員会報告としてそれぞれJICに投稿した。オミクロン株肺炎症例に関しては、JIC Vol.31(3)に掲載され、レジオネラ診断予測スコアの検証論文についてはVol.31(4)に掲載された。
 13. OPATワーキンググループ(委員長 馳 亮太)
日本感染症学会と合同でワーキンググループを立ち上げ、わが国におけるOPAT(Outpatient Parenteral Antimicrobial Therapy:外来静注抗菌薬療法)実施体制の整備を行うことになった。
 14. CDI診療ガイドライン作成委員会(委員長 國島広之)
*Clostridioides difficile*感染症診療ガイドライン第3版に向けて改訂作業を始めた。
 15. MRSA感染症の治療ガイドライン作成委員会(委員長 光武耕太郎)
MRSA感染症の診療ガイドライン2024の冊子版を発行し、Executive Summaryについては日本化学療法学会雑誌第72巻3号(2024年5月)に掲載した。
 16. 抗菌薬TDMガイドライン作成委員会(委員長 木村利美)
バンコマイシンTDMソフトウェアPATをver.3.0からver.4.0に更新した。
 17. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会(委員長 三嶋廣繁)
術後感染症予防抗菌薬ガイドラインについて会員からの質問に回答した。
 18. 薬剤耐性(AMR)治療ガイダンス作成委員会(委員長 柳原克紀)

薬剤耐性（AMR）治療ガイドランスの作成に向けて原稿を執筆し、委員会で読み合わせを行った。

19. 淋菌感染症アドホック委員会（委員長 三嶋廣繁）

男性尿道炎患者より分離された淋菌株の感受性測定ならびに分子疫学的解析を行った。

20. 7学会合同感染症治療・創薬促進検討委員会（委員長 舘田一博）

- ・7月3日に委員会を開催し、AMR関連の海外および国内の動向、セフィデロコルを例に本邦プル型インセンティブの現状と課題について情報共有を行った。
- ・12月4日に委員会を開催し、第11回日経FT感染症会議についての情報共有を行った。

21. 抗微生物薬適正使用推進検討委員会（委員長 川口辰哉）

- ・第1回8学会合同委員会を2024年5月27日（Web）に開催し、「抗微生物薬適正使用支援プログラム実践のためのガイドランス改訂版」に関する意見交換会を行った。
- ・「抗微生物薬適正使用支援プログラム実践のためのガイドランス2024年度改訂版」を日本化学療法学会雑誌第73巻2号（2025年3月）に掲載した。

22. 外来抗菌薬適正使用調査委員会（委員長 大曲貴夫）

- ・2025年2月に全国の診療所医師を対象とした抗菌薬適正使用に関する第4回アンケート調査を実施した。
- ・第2回の全国の診療所医師を対象とした抗菌薬適正使用に関するアンケート調査結果を委員会報告としてJIC Vol. 31 (2) に掲載した。

23. Key Drug選定ワーキンググループ（委員長 石和田稔彦）

- ・感染症治療薬のKey drugsについて見直しを行った。
- ・厚生労働省から日本医学会を通じて依頼があった「安定確保医薬品の見直しに係る候補成分の提案」について検討した。

24. AST育成プログラムワーキンググループ（委員長 北原隆志）

下記のAST講習会をWebで開催した。

- ・第6回AST講習会「新規ガイドラインを考慮した今後のMRSA感染症診療」（2024年12月9日）Webinar登録人数605名
- ・第7回AST講習会「抗微生物薬毎のAST活動の実際～我々はこうやっています！～」（2025年2月13日）Webinar登録人数361名

25. 3学会合同呼吸器感染症予防促進委員会（委員長 迎 寛）

日本呼吸器学会および日本感染症学会と合同で、9月29日にWeb講演会「なくそう、ふせごう呼吸器感染症」を開催した。

26. 学術集会開催支援ワーキング（委員長 安田 満）

2025年および2026年、2027年に開催の各学術集会の予算書および業務委託に関する見積書について確認した。

27. 社会保険委員会（委員長 渡邊 学）

医薬品・医療機器・体外診断用医薬品供給停止品目および経過措置移行予定品目について検討した。

28. 倫理委員会（委員長 志馬伸朗）

倫理委員会規程を作成した。

29. インфекションコントロールドクター (ICD)制度

2024年12月 認定者 34名

(2) 2024年度事業報告の附属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に記載すべき事項はない。

(3) 財務諸表

2024年度財務諸表、すなわち貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表含む）並びに附属明細書並びに財産目録はそれぞれ表1、2、3、4の通りである。

(4) 四学会抗菌薬感受性サーベイランス委員会 収支計算書（表5）

表1

貸借対照表

2025年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	227,697,468	270,446,559	△ 42,749,091
未収金	2,766,489	5,049,520	△ 2,283,031
前払金	2,818,743	2,599,404	219,339
貯蔵品	13,902,496	12,004,550	1,897,946
流動資産合計	247,185,196	290,100,033	△ 42,914,837
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業資産	50,000,000	50,000,000	0
退職給付引当資産	38,740,000	29,180,000	9,560,000
国際学術交流基金	27,825,824	29,396,824	△ 1,571,000
学術奨励基金	4,200,000	5,600,000	△ 1,400,000
英文誌発行積立基金	17,869,271	17,869,271	0
レジオネラ事業積立基金	25,141,406	25,168,024	△ 26,618
サーベイランス事業積立基金	23,727,045	29,797,979	△ 6,070,934
抗菌薬適正使用生涯教育基金	31,000,000	30,000,000	1,000,000
特定感染症サーベイランス事業積立基金	9,292,507	9,292,507	0
啓発・教育活動事業積立基金	1,676,343	2,728,643	△ 1,052,300
薬剤耐性関連研究教育積立基金	583,000	20,583,000	△ 20,000,000
システム開発費用積立基金	30,000,000	0	30,000,000
地域講習会促進活動積立基金	26,000,000	0	26,000,000
臨床研究支援事業積立	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	296,055,396	249,616,248	46,439,148
(3) その他固定資産			
電話加入権	139,383	139,383	0
その他固定資産合計	139,383	139,383	0
固定資産合計	316,194,779	269,755,631	46,439,148
資産合計	563,379,975	559,855,664	3,524,311
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,293,832	9,884,094	△ 3,590,262
未払費用	1,421,088	1,421,088	0
前受金	22,335,500	29,427,850	△ 7,092,350
前受会費	522,600	577,000	△ 54,400
預り金	1,691,191	2,224,195	△ 533,004
流動負債合計	32,264,211	43,534,227	△ 11,270,016
2. 固定負債			
退職給付引当金	38,740,000	29,180,000	9,560,000
固定負債合計	38,740,000	29,180,000	9,560,000
負債合計	71,004,211	72,714,227	△ 1,710,016
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	48,868,451	48,702,753	165,698
指定正味財産合計	48,868,451	48,702,753	165,698
(うち特定資産への充当額)	48,868,451	48,702,753	165,698
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	20,000,000	20,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	208,446,945	171,733,495	36,713,450
正味財産合計	492,375,764	487,141,437	5,234,327
負債及び正味財産合計	563,379,975	559,855,664	3,524,311

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	433	202	231
基本財産受取利息	433	202	231
特定資産運用益	36,108	2,701	33,407
特定資産受取利息	36,108	2,701	33,407
受取会費	76,436,700	77,987,000	△ 1,550,300
正会員受取会費	71,651,000	72,368,000	△ 717,000
賛助会員受取会費	4,785,700	5,619,000	△ 833,300
団体会員	785,700	819,000	△ 33,300
賛助会員	4,000,000	4,800,000	△ 800,000
事業収益	200,790,658	227,019,650	△ 26,228,992
学術集会開催収益	87,900,840	83,511,830	4,389,010
支部学術集会開催収益	63,278,373	62,939,905	338,468
学会誌等刊行収益	17,495,905	41,170,929	△ 23,675,024
論文著者負担金	3,478,403	5,021,601	△ 1,543,198
広告掲載料収入	354,200	354,200	0
和文誌購読料収入	2,052,600	2,010,500	42,100
ガイドライン関連収入	10,889,210	32,752,000	△ 21,862,790
雑収入	721,492	1,032,628	△ 311,136
資格認定収益	23,598,300	24,731,000	△ 1,132,700
審査料収入	2,695,000	2,858,800	△ 163,800
認定料収入	14,634,400	15,788,100	△ 1,153,700
セミナー収入	6,268,900	6,084,100	184,800
サーベイランス事業収益	4,232,300	9,407,250	△ 5,174,950
書籍等販売事業収益	4,284,940	5,258,736	△ 973,796
受取寄付金	2,984,302	2,193,464	790,838
受取寄付金	1,200,000	1,468,388	△ 268,388
指定正味財産振替額	1,784,302	725,076	1,059,226
雑収益	170,364	63,304	107,060
受取利息	170,364	2,540	167,824
雑収益	0	60,764	△ 60,764
経常収益計	280,418,565	307,266,321	△ 26,847,756
(2) 経常費用			
事業費	268,620,306	245,666,563	22,953,743
学術集会開催費	67,248,084	70,719,449	△ 3,471,365
支部学術集会開催費	52,359,642	59,465,141	△ 7,105,499
学会誌等刊行費	24,265,252	25,093,204	△ 827,952
印刷費	7,778,210	6,542,415	1,235,795
発送費	1,685,553	857,493	828,060
編集費	4,472,317	3,429,690	1,042,627
英文誌刊行費	7,575,629	7,444,389	131,240
ガイドライン関連費	2,753,543	6,819,217	△ 4,065,674
教育事業費	15,091,498	15,293,368	△ 201,870
学術奨励費	3,241,701	3,292,713	△ 51,012
レジオネラ事業費	40,480	550	39,930
サーベイランス費	31,226,045	8,828,658	22,397,387
書籍等販売事業費	1,939,094	2,337,558	△ 398,464
委員会費	2,346,289	1,191,689	1,154,600
給料手当	25,726,052	26,719,403	△ 993,351
退職給付費用	9,273,200	6,906,400	2,366,800
福利厚生費	4,688,709	3,886,096	802,613
旅費交通費	2,132,790	1,558,682	574,108
通信運搬費	2,887,420	2,556,782	330,638
消耗品費	3,655,019	713,175	2,941,844
印刷製本費	52,800	91,410	△ 38,610
業務委託費	779,972	1,151,123	△ 371,151
賃借料	3,643,518	3,911,897	△ 268,379
諸謝金	3,230,537	3,366,636	△ 136,099
租税公課	3,637,000	5,365,000	△ 1,728,000
支払負担金	10,000,000	2,000,000	8,000,000

雑費	1,155,204	1,217,629	△ 62,425
管理費	6,659,630	5,406,542	1,253,088
給料手当	795,650	826,372	△ 30,722
退職給付費用	286,800	213,600	73,200
福利厚生費	145,012	120,189	24,823
会議費	79,712	235,441	△ 155,729
旅費交通費	853,588	1,302,440	△ 448,852
通信運搬費	3,377,710	1,910,177	1,467,533
消耗品費	167,713	65,323	102,390
印刷製本費	654,852	472,076	182,776
業務委託費	24,122	35,601	△ 11,479
賃借料	112,684	120,985	△ 8,301
諸謝金	78,557	75,878	2,679
租税公課	5,020	2,500	2,520
雑費	78,210	25,960	52,250
経常費用計	275,279,936	251,073,105	24,206,831
評価損益等調整前当期経常増減額	5,138,629	56,193,216	△ 51,054,587
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,138,629	56,193,216	△ 51,054,587
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,138,629	56,193,216	△ 51,054,587
法人税、住民税及び事業税	70,000	73,400	△ 3,400
当期一般正味財産増減額	5,068,629	56,119,816	△ 51,051,187
一般正味財産期首残高	438,438,684	382,318,868	56,119,816
一般正味財産期末残高	443,507,313	438,438,684	5,068,629
II 指定正味財産増減の部			0
受取寄付金	1,950,000	2,250,000	△ 300,000
受取寄付金	1,950,000	2,250,000	△ 300,000
一般正味財産への振替額	△ 1,784,302	△ 725,076	△ 1,059,226
受取寄付金	△ 1,784,302	△ 725,076	△ 1,059,226
当期指定正味財産増減額	165,698	1,524,924	△ 1,359,226
指定正味財産期首残高	48,702,753	47,177,829	1,524,924
指定正味財産期末残高	48,868,451	48,702,753	165,698
III 正味財産期末残高	492,375,764	487,141,437	5,234,327

正味財産増減計算書内訳表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業		収益事業等会計		法人会計	合 計
	化学療法向上		書籍販売	化学療法普及		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	433	433
基本財産受取利息	0	0	0	0	433	433
特定資産運用益	34,639	0	853	853	616	36,108
特定資産受取利息	34,639	0	853	853	616	36,108
受取会費	38,218,350	0	0	0	38,218,350	76,436,700
正会員受取会費	35,825,500	0	0	0	35,825,500	71,651,000
賛助会員受取会費	2,392,850	0	0	0	2,392,850	4,785,700
団体会員	392,850	0	0	0	392,850	785,700
賛助会員	2,000,000	0	0	0	2,000,000	4,000,000
事業収益	179,176,318	4,284,940	17,329,400	17,329,400	0	200,790,658
学術集会開催収益	87,900,840	0	0	0	0	87,900,840
支部学術集会開催収益	63,278,373	0	0	0	0	63,278,373
学会誌等刊行収益	17,495,905	0	0	0	0	17,495,905
論文著者負担金	3,478,403	0	0	0	0	3,478,403
広告掲載料収入	354,200	0	0	0	0	354,200
和文誌購読料収入	2,052,600	0	0	0	0	2,052,600
ガイドライン関連収入	10,889,210	0	0	0	0	10,889,210
雑収入	721,492	0	0	0	0	721,492
資格認定収益	6,268,900	0	17,329,400	17,329,400	0	23,598,300
審査料収入	0	0	2,695,000	2,695,000	0	2,695,000
認定料収入	0	0	14,634,400	14,634,400	0	14,634,400
セミナー収入	6,268,900	0	0	0	0	6,268,900
サーベイランス事業収益	4,232,300	0	0	0	0	4,232,300
書籍等販売事業収益	0	4,284,940	0	0	0	4,284,940
受取寄付金	2,984,302	0	0	0	0	2,984,302
受取寄付金	1,200,000	0	0	0	0	1,200,000
指定正味財産振替額	1,784,302	0	0	0	0	1,784,302
雑収益	30,012	0	0	0	140,352	170,364
受取利息	30,012	0	0	0	140,352	170,364
経常収益計	220,443,621	4,284,940	17,330,253	17,330,253	38,359,751	280,418,565
(2) 経常費用						
事業費	248,528,639	5,287,084	14,804,583	14,804,583	0	268,620,306
学術集会開催費	67,248,084	0	0	0	0	67,248,084
支部学術集会開催費	52,359,642	0	0	0	0	52,359,642
学会誌等刊行費	24,265,252	0	0	0	0	24,265,252
印刷費	7,778,210	0	0	0	0	7,778,210
発送費	1,685,553	0	0	0	0	1,685,553
編集費	4,472,317	0	0	0	0	4,472,317
英文誌刊行費	7,575,629	0	0	0	0	7,575,629
ガイドライン関連費	2,753,543	0	0	0	0	2,753,543
教育事業費	11,465,886	0	3,625,612	3,625,612	0	15,091,498
学術奨励費	0	0	3,241,701	3,241,701	0	3,241,701
レジオネラ事業費	40,480	0	0	0	0	40,480
サーベイランス費	31,226,045	0	0	0	0	31,226,045
書籍等販売事業費	0	1,939,094	0	0	0	1,939,094
委員会費	2,346,289	0	0	0	0	2,346,289
給料手当	20,952,148	1,591,301	3,182,603	3,182,603	0	25,726,052
退職給付費用	7,552,400	573,600	1,147,200	1,147,200	0	9,273,200
福利厚生費	3,818,640	290,023	580,046	580,046	0	4,688,709
旅費交通費	2,132,790	0	0	0	0	2,132,790
通信運搬費	2,859,810	0	27,610	27,610	0	2,887,420
消耗品費	2,964,724	268,236	422,059	422,059	0	3,655,019
印刷製本費	52,800	0	0	0	0	52,800
業務委託費	635,236	48,245	96,491	96,491	0	779,972
貸借料	2,967,406	225,370	450,742	450,742	0	3,643,518
諸謝金	2,491,903	157,115	581,519	581,519	0	3,230,537

租税公課	1,993,900	194,100	1,449,000	0	3,637,000
支払負担金	10,000,000	0	0	0	10,000,000
雑費	1,155,204	0	0	0	1,155,204
管理費	0	0	0	6,659,630	6,659,630
給料手当	0	0	0	795,650	795,650
退職給付費用	0	0	0	286,800	286,800
福利厚生費	0	0	0	145,012	145,012
会議費	0	0	0	79,712	79,712
旅費交通費	0	0	0	853,588	853,588
通信運搬費	0	0	0	3,377,710	3,377,710
消耗品費	0	0	0	167,713	167,713
印刷製本費	0	0	0	654,852	654,852
業務委託費	0	0	0	24,122	24,122
賃借料	0	0	0	112,684	112,684
諸謝金	0	0	0	78,557	78,557
租税公課	0	0	0	5,020	5,020
雑費	0	0	0	78,210	78,210
経常費用計	248,528,639	5,287,084	14,804,583	6,659,630	275,279,936
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 28,085,018	△ 1,002,144	2,525,670	31,700,121	5,138,629
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 28,085,018	△ 1,002,144	2,525,670	31,700,121	5,138,629
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 28,085,018	△ 1,002,144	2,525,670	31,700,121	5,138,629
他会計振替額	△ 1,079,318	0	1,079,318	0	0
他会計振替額	△ 1,079,318	0	1,079,318	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 27,005,700	△ 1,002,144	1,446,352	31,700,121	5,138,629
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 27,005,700	△ 1,072,144	1,446,352	31,700,121	5,068,629
一般正味財産期首残高	△ 3,855,872	13,098,089	59,070,667	370,125,800	438,438,684
一般正味財産期末残高	△ 30,861,572	12,025,945	60,517,019	401,825,921	443,507,313
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	1,950,000	0	0	0	1,950,000
受取寄付金	1,950,000	0	0	0	1,950,000
一般正味財産への振替額	△ 1,784,302	0	0	0	△ 1,784,302
受取寄付金	△ 1,784,302	0	0	0	△ 1,784,302
当期指定正味財産増減額	165,698	0	0	0	165,698
指定正味財産期首残高	48,702,753	0	0	0	48,702,753
指定正味財産期末残高	48,868,451	0	0	0	48,868,451
III 正味財産期末残高	18,006,879	12,025,945	60,517,019	401,825,921	492,375,764

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法により減価償却を行っております。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職による支出に備えるため、期末における要支給額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
公益目的事業資産	50,000,000	0	0	50,000,000
退職給付引当資産	29,180,000	9,560,000	0	38,740,000
国際学術交流基金	29,396,824	0	1,571,000	27,825,824
学術奨励基金	5,600,000	0	1,400,000	4,200,000
英文誌発行積立基金	17,869,271	0	0	17,869,271
レジオネラ事業積立基金	25,168,024	13,862	40,480	25,141,406
サーベイランス事業積立基金	29,797,979	5,127,091	11,198,025	23,727,045
抗菌薬適正使用生涯教育基金	30,000,000	1,000,000	0	31,000,000
特定感染症サーベイランス事業積立基金	9,292,507	0	0	9,292,507
啓発・教育活動事業積立基金	2,728,643	0	1,052,300	1,676,343
薬剤耐性関連研究教育積立基金	20,583,000	0	20,000,000	583,000
システム開発費用積立基金	0	30,000,000	0	30,000,000
地域講習会促進活動積立基金	0	26,000,000	0	26,000,000
臨床研究支援事業積立	0	10,000,000	0	10,000,000
小 計	249,616,248	81,700,953	35,261,805	296,055,396
合 計	269,616,248	81,700,953	35,261,805	316,055,396

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000		(20,000,000)	
小 計	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
特定資産				
公益目的事業資産	50,000,000		(50,000,000)	
退職給付引当資産	38,740,000			(38,740,000)
国際学術交流基金	27,825,824		(27,825,824)	
学術奨励基金	4,200,000		(4,200,000)	
英文誌発行積立基金	17,869,271		(17,869,271)	
レジオネラ事業積立基金	25,141,406	(25,141,406)		
サーベイランス事業積立基金	23,727,045	(23,727,045)		
抗菌薬適正使用生涯教育基金	31,000,000		(31,000,000)	
特定感染症サーベイランス事業積立基金	9,292,507		(9,292,507)	
啓発・教育活動事業積立基金	1,676,343		(1,676,343)	
薬剤耐性関連研究教育積立基金	583,000		(583,000)	
システム開発費用積立基金	30,000,000		(30,000,000)	
地域講習会促進活動積立基金	26,000,000		(26,000,000)	
臨床研究支援事業積立	10,000,000		(10,000,000)	
小 計	296,055,396	(48,868,451)	(208,446,945)	(38,740,000)
合 計	316,055,396	(48,868,451)	(228,446,945)	(38,740,000)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内容	取得価額
経常収益への振替額	
サーベイランス費計上による振替額	1,757,684
レジオネラ事業費計上による振替額	26,618
合 計	1,784,302

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2.に記載のため省略。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	29,180,000	9,560,000	0	0	38,740,000
合 計	29,180,000	9,560,000	0	0	38,740,000

財産目録
2025年 3月31日現在

科 目	場所・物量等	使用目的等	合 計
(流動資産)			
当座預金	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として	1,327,982
普通預金	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として	26,750,732
	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	運転資金として	159,542,211
	三井住友銀行 本店営業部	運転資金として	2,995,461
	りそな銀行 本郷支店	運転資金として	7,621,593
	りそな銀行 越生毛呂山支店	運転資金として	17,601,744
	十八親和銀行 浦上駅前支店	運転資金として	335,227
	第四北越銀行 白山支店	運転資金として	1,339,323
	もみじ銀行 東雲支店	運転資金として	2,128,886
	十八親和銀行 北支店	運転資金として	1,999,766
郵便振替	東京貯金事務センター	運転資金として	5,054,543
定期預金	みずほ銀行 本郷支店	運転資金として	1,000,000
未収金		公益事業：学会誌刊行収入等に係る未収分および会費 収益事業等：書籍販売に係る未収分 未収消費税	2,183,289 196,900 386,300
前払金		公益事業：セミナー開催費用等の前払分	2,818,743
貯蔵品		公益事業：ガイドライン在庫分 収益事業等：書籍在庫分	2,684,376 11,218,120
流動資産合計			247,185,196
(固定資産)			
基本財産			
定期預金		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財	
定期預金(指定)	三菱UFJ銀行 本郷支店	源として利用	20,000,000
特定資産			
公益目的事業資産	三菱UFJ銀行 本郷支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財	50,000,000
		源として利用	
退職給付引当資産	みずほ銀行 本郷支店	法人管理目的保有資産であり、職員の退職金の支払い	38,740,000
		に充てるための資金として管理されている預金	
国際学術交流基金	三井住友銀行 本店営業部 りそな銀行 本郷支店	公益目的保有財産であり、国際学術交流に使用する資	10,000,000 17,825,824
		金として管理されている預金	
学術奨励基金	みずほ銀行 本郷支店	収益事業目的保有財産であり、学術奨励費の支払いに	4,200,000
		充てる資金として管理されている預金	
英文誌発行積立基金	みずほ銀行 本郷支店	公益目的保有財産であり、学会誌刊行事業に使用する	17,869,271
		資金として管理されている預金	
レジオネラ事業積立基金	三菱UFJ銀行 本郷支店	公益目的保有財産であり、レジオネラ事業に使用する	25,141,406
		資金として管理されている預金	
サーベイランス事業積立基金	みずほ銀行 本郷支店	公益目的保有財産であり、サーベイランス事業に使用	23,727,045
		する資金として管理されている預金	
抗菌薬適正使用生涯教育基金	三菱UFJ銀行 本郷支店 三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益目的保有財産であり、教育事業に使用する資金と	30,000,000 1,000,000
		して管理されている預金	
特定感染症サーベイランス事業積立基金	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益目的保有財産であり、サーベイランス事業に使用	9,292,507
		する資金として管理されている預金	
啓発・教育活動事業積立基金	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益目的保有財産であり、教育事業に使用する資金と	1,676,343
		して管理されている預金	
薬剤耐性関連研究教育積立基金	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益目的保有財産であり、薬剤耐性関連教育事業に	583,000
		使用する資金として管理されている預金	
システム開発費用積立基金	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益および収益、法人目的保有財産であり、システム	30,000,000
		開発費用に使用する資金として管理されている預金	
地域講習会促進活動積立基金	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益目的保有財産であり、地域講習会促進活動事業	26,000,000
		に使用する資金として管理されている預金	
臨床研究支援事業積立	三菱UFJ銀行 目黒駅前支店	公益目的保有財産であり、臨床研究支援事業に使用	10,000,000
		する資金として管理されている預金	
その他固定資産			
電話加入権	事務局設置電話	全体共有資産(公益事業33.3%、収益等事業33.3%、法	139,383
		人管理33.3%)	
固定資産合計			316,194,779
資産合計			563,379,975
(流動負債)			
未払金		公益事業：学会誌印刷費未払分等 収益事業等：学術奨励費未払分等 未払法人税等 その他	3,216,462 2,896,000 70,000 111,370
未払費用		職員3名に対する賞与	1,421,088
前受金		公益事業：学術集会関連前受金等	22,335,500
前受会費		2025年会費など(公益事業50%、法人管理50%)	522,600
預り金		法人管理：源泉所得税、社会保険料等	1,691,191
流動負債合計			32,264,211
(固定負債)			
退職給付引当金		職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの	38,740,000
固定負債合計			38,740,000
負債合計			71,004,211
正味財産			492,375,764

表5

四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業収支決算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部	合算	日本化学療法学会	日本感染症学会	日本臨床微生物学会	日本環境感染学会
1. 寄付金収入	7,800,000	1,950,000	1,950,000	1,950,000	1,950,000
2. 受託事業収入(三学会)	6,450,000	2,150,000	2,150,000	2,150,000	
2. 受託事業収入(四学会)	3,300,000	825,000	825,000	825,000	825,000
3. 測定費用収入(三学会)	1,353,000	451,000	451,000	451,000	
4. 菌株分与収入	418,000	104,500	104,500	104,500	104,500
5. 利息	36,433	9,108	9,109	9,108	9,108
小計	19,357,433	5,489,608	5,489,609	5,489,608	2,888,608
前年度繰越金	69,663,988	21,849,768	21,849,768	21,849,767	4,114,685
うち前年度繰越金(三学会)	53,205,248	17,735,083	17,735,083	17,735,082	0
うち前年度繰越金(四学会)	16,458,740	4,114,685	4,114,685	4,114,685	4,114,685
合計	89,021,421	27,339,376	27,339,377	27,339,375	7,003,293
支出の部					
6. 会議費	359,975	119,992	119,992	119,991	0
7. 消耗品費	12,399	4,133	4,133	4,133	0
8. 印刷費	0	0	0	0	0
9. 通信運搬費	37,530	12,510	12,510	12,510	0
10. 旅費交通費	0	0	0	0	0
11. 業務委託費	33,080,870	11,026,957	11,026,957	11,026,956	0
11. 審査費	100,000	33,333	33,333	33,334	0
12. 雑費	1,650	550	550	550	0
小計	33,592,424	11,197,475	11,197,475	11,197,474	0
次年度繰越金	55,428,997	16,141,901	16,141,902	16,141,901	7,003,293
うち次年度繰越金(三学会)	27,415,825	9,138,608	9,138,609	9,138,608	0
うち次年度繰越金(四学会)	28,013,172	7,003,293	7,003,293	7,003,293	7,003,293
合計	89,021,421	27,339,376	27,339,377	27,339,375	7,003,293

監査報告書

2025年4月23日

公益社団法人日本化学療法学会

理事長 高橋 聡 殿

公益社団法人日本化学療法学会

監事 松本 哲哉 印

監事 山本 善裕 印

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、理事の職務執行について監査し、その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、理事会その他の重要な会議に出席し、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、当法人の業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関係する資料の調査を行い、当該年度に係わる計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

第2号議案 2025年度事業計画および予算報告の件

事業計画

(1) 学術集会および会務

A) 学術集会

1. 第73回総会（2025年5月8日～10日）
会場：パシフィコ横浜ノース
会長：川名明彦（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器））
2. 第72回東日本支部総会（2025年9月24日～26日）
会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
会長：菊地利明（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野）
3. 第73回西日本支部総会（2025年11月28日～30日）
会場：福岡国際会議場
会長：高田 徹（福岡大学病院感染制御部/医学部腫瘍・血液・感染症内科学）
4. 関連国際学会として
20th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology and Infection (APCCMI 2025)
2025年11月2日～4日（タイ・バンコク）

B) 会務

1. 理事会、評議員会の開催について
理事会年5回、評議員会 年1回を予定
2. 関連団体への対応
日本医学会に評議員及び医学用語委員会委員を、内科系学会社会保険連合にそれぞれの委員を派遣する。

C) 事業計画

1. 編集委員会

- 1) 日本化学療法学会雑誌
 - ・6冊発行予定（第73巻3～6号、第74巻1～2号）
 - ・Supplement（新薬特集号：Cefiderocol）を発刊した。
 - ・編集委員会を6回開催する。
 - ・投稿規定を改訂する予定である。
 - ・第73回日本化学療法学会総会の特別企画3「学会誌の活性化に向けて－現状と課題－」で日本化学療法学会雑誌編集委員長の立場からとして講演し、投稿数増加に向けた働きかけを行う予定である。
- 2) Journal of Infection and Chemotherapy
 - ・電子版12号を発刊する予定。
 - ・編集委員会を数回、開催する。

・ JIC AwardおよびReviewer of the Yearを選考する。

3) 用語委員会

必要があれば適宜、対応していく予定である。

2. 学術委員会

学術奨励賞を選考する。

3. 学会賞選考委員会

志賀潔・秦佐八郎記念賞および Young Challenger Award の選考を行う。

4. 国際渉外委員会

2025年11月2日～4日にバンコク（タイ）で The 20th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology and Infection (APCCMI 2025) が開催される予定である。

5. 三学会合同ブレイクポイント臨床応用検討委員会（委員長 平松和史）

β ラクタマーゼ阻害薬合剤のブレイクポイントについて検討する予定である。

6. 薬剤感受性検査検討委員会

3学会合同ブレイクポイント臨床応用検討委員会と連携し、日本で直近上市された β -lactam/ β -lactamase inhibitor や cefiderocol などの臨床的ブレイクポイントの設定について検討する。

7. プロバイオティクス製剤適正使用検討委員会

プロバイオティクス製剤の使用状況に関するアンケート調査についての学会誌報告（委員会報告）を行う予定である。

8. 抗菌化学療法認定医認定制度審議委員会

1) 抗菌薬適正使用生涯教育セミナー開催予定

年次テーマ：「ショック」

第74回 2025年5月10日（土）パシフィコ横浜ノース

第75回 2025年8月30日（土）東京国際フォーラム

第76回 2025年9月24日（水）朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

第77回 2025年11月28日（金）福岡国際会議場

※第75回は収録し、後日、e-learning を実施する予定である。

2) 抗菌化学療法認定医および指導医の資格認定

・10月末 指導医・認定医・認定歯科医の認定申請を締め切る。

・11月22日（土）に砂防会館別館シェーンバッハ・サボーで指導医試験を実施し、認定申請審査の委員会を開催する予定である。

・2026年1月1日付けで認定

上記事業計画を円滑に遂行するため、委員会を数回開催予定。

9. 抗菌化学療法認定薬剤師制度委員会

・第30回講習会は日本環境感染学会に合わせて2025年7月12日（土）に横浜で開催する予定であり、第31回講習会は日本医療薬学会に合わせて2025年11月に神戸にて

開催する予定である。

- ・ 2026年1月25日（日）に認定薬剤師試験を実施し、認定作業を行う予定である。
- ・ 2026年3月1日付けで認定証を発行する予定である。

10. 外来抗感染症薬認定薬剤師認定委員会

- ・ 委員全員で外来抗感染症薬認定薬剤師試験の問題作成を行う予定である。
- ・ 2025年12月14日（日）に外来抗感染症薬認定薬剤師試験を実施し、認定作業を行う予定である。
- ・ 2026年3月1日付けで認定証を発行する予定である。
- ・ eラーニング動画コンテンツを作成する予定である。

11. 四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会

1) 第12回（2020年）

- ・ 耳鼻科領域感染症（3回目）

全国 37 施設から収集した 377 株の感受性測定結果について、JIC に論文を投稿する予定である。

2) 第13回（2021）

- ・ 尿道炎（淋菌）（4回目：10 薬剤・目標 1200 症例）

札幌医科大学が経年的に実施しているサーベイランスで、全国 55 施設から収集された 1,068 株の感受性測定結果について JIC に投稿する予定である。

- ・ 小児科領域感染症

全国 18 施設にて収集した 1,498 株の測定結果を日本感染症学会・日本化学療法学会合同学会（2025 年 5 月・横浜）および日本臨床微生物学会（2026 年 2 月・幕張）で発表する予定である。

3) 第14回（2022）

- ・ 呼吸器感染症（10 回目）

全国 28 施設から収集した 1,057 株の測定結果を JIC に投稿する予定である。

- ・ 手術部位感染症(SSI)（4 回目）

全国 18 施設より収集した 855 株についての測定結果について、日本感染症学会・日本化学療法学会合同学会（2025 年 5 月・横浜）で発表する予定である。

4) 第15回（2023）

- ・ 歯科・口腔外科領域（3 回目：Streptococcus spp. 32 薬剤、嫌気性菌調査薬剤 19 薬剤、目標 400 株）

全国 23 施設で収集した菌株の感受性測定を行う予定である。

- ・ *Clostridioides(Clostridium) difficile* 感染症（1 回目）

全国 10 施設で収集した 129 株の遺伝子検査を実施する予定である。

5) 第16回（2024年）

- ・ 皮膚科（3 回目：目標 1,000 株、34 薬剤）

全国 40 施設で引き続き、菌株収集を行う予定である。

- ・ 産婦人科（1 回：200 株、64 薬剤）

全国 15 施設で引き続き、菌株収集を行う予定である。

6) 第17回（2025年）

- ・呼吸器感染症および尿路感染症（急性単純性膀胱炎および複雑性尿路感染症）、小児科（百日咳）を実施する予定である。

7) ホームページの更新

各領域の確定結果をデータベースにアップデートする予定である。

12. 真菌サーベイランス委員会

真菌血症の検出菌における抗真菌薬感受性サーベイランスの参加施設を検討し、菌株収集を開始する予定である。

13. レジオネラ治療薬評価検討委員会

新規抗菌薬のレジオネラ症治療におけるブレイクポイントの評価を行う予定である。

14. OPATワーキンググループ

- ・OPATで使用する抗菌薬の持続静注投与について、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」に薬事承認の要望を申請するための準備を行う予定である。
- ・薬事承認後に、OPATに使用する携帯型ディスプレイポンプの保険収載について、診療報酬改定での保険点数算定を目指す予定である。
- ・OPATが不適切に実施されないようにするための施設基準の設定やガイドライン作成などに向けた準備を行う予定である。

15. CDI診療ガイドライン作成委員会

Clostridioides difficile 感染症診療ガイドライン第3版に向けて改訂作業を行う予定である

16. 抗菌薬TDMガイドライン作成委員会

- ・「抗菌薬 TDM 臨床実践ガイドライン 2022」改訂に向けて作業を行う予定である。
- ・バンコマイシンの大規模 TDM データによる母集団薬物動態モデルの研究成果をまとめる予定である。
- ・TDM ソフトウェア PAT をバンコマイシン以外の抗菌薬にも拡大する予定である。

17. 薬剤耐性（AMR）治療ガイダンス作成委員会

第73回総会の委員会報告で、薬剤耐性（AMR）治療ガイダンスの確定した内容を発表し、ガイダンスを公表する予定である。

18. 淋菌感染症アドホック委員会

第73回総会において男性尿道炎患者より分離された淋菌に対する各種抗菌薬の感受性測定の実験報告を行う予定である。

19. 7学会合同感染症治療・創薬促進検討委員会

Pull型のインセンティブの導入について活動を続けていく予定である。

20. 抗微生物薬適正使用推進検討委員

第73回総会のシンポジウム6において、「抗菌薬適正使用支援プログラム（ASP）実践のためのガイダンス」について報告し、啓発活動を行う予定である。

21. 外来抗菌薬適正使用調査委員会

全国の診療所医師を対象とした抗菌薬適正使用に関する第4回アンケート調査結果を纏め、解析する予定である。

22. 3学会合同呼吸器感染症予防促進委員会

呼吸器感染症予防週間に3学会合同で啓発活動を行う予定である。

23. Key Drug選定ワーキンググループ

今後の抗菌薬の供給状況なども踏まえて臨床における評価を適宜見直す予定である。

24. AST育成プログラムワーキンググループ

年2回のAST講習会をWebで開催する予定である。

25. 学術集会開催支援ワーキング

各学術集会の予算書および業務委託に関する見積書を確認する予定である。

26. 社会保険委員会

医薬品および医療機器・体外診断用医薬品供給停止品目、経過措置移行予定品目に関する検討を行う予定である。

27. 利益相反委員会

日本医学会の動向をみて、利益相反指針および細則を改定する予定である。

28. 倫理委員会

要望があれば適宜、対応していく予定である。

29. インфекションコントロールドクター(ICD)制度

申請締切：2025年10月31日

(2) 2025年度予算（正味財産増減計算書ベース）（表6）

2025年度収支予算書 正味財産増減計算書

表6-1

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	500	200	300
基本財産受取利息	500	200	300
特定資産運用益	13,000	2,200	10,800
特定資産受取利息	13,000	2,200	10,800
受取会費	75,874,000	76,310,000	△ 436,000
正会員受取会費	71,100,000	71,100,000	0
賛助会員受取会費	4,774,000	5,210,000	△ 436,000
事業収益	177,680,900	159,820,000	17,860,900
学術集会開催収益	71,180,000	51,790,000	19,390,000
支部学術集会開催収益	58,180,000	60,370,000	△ 2,190,000
学会誌等刊行収益	14,613,400	16,350,000	△ 1,736,600
論文著者負担金	3,000,000	3,500,000	△ 500,000
広告掲載料収入	350,000	350,000	0
和文誌購読料収入	2,000,000	2,000,000	0
ガイドライン関連収入	8,263,400	9,500,000	△ 1,236,600
雑収入	1,000,000	1,000,000	0
資格認定収益	22,910,000	21,380,000	1,530,000
サーベイランス事業収益	6,970,000	5,770,000	1,200,000
書籍等販売事業収益	3,827,500	4,160,000	△ 332,500
受取寄付金	7,600,000	13,130,000	△ 5,530,000
受取寄付金	2,600,000	1,200,000	1,400,000
指定正味財産振替額	5,000,000	11,930,000	△ 6,930,000
雑収益	200,000	111,500	88,500
受取利息	100,000	1,500	98,500
雑収益	100,000	110,000	△ 10,000
経常収益計	261,368,400	249,373,900	11,994,500
(2) 経常費用			
事業費	273,345,561	256,846,200	16,499,361
学術集会開催費	71,180,000	51,790,000	19,390,000
支部学術集会開催費	58,180,000	60,370,000	△ 2,190,000
学会誌等刊行費	21,503,291	22,300,000	△ 796,709
印刷費	6,000,000	7,000,000	△ 1,000,000
発送費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000
編集費	4,940,000	4,800,000	140,000
英文誌刊行費	8,000,000	7,500,000	500,000
ガイドライン関連費	1,063,291	1,000,000	63,291
教育事業費	14,500,000	14,000,000	500,000
学術奨励費	5,000,000	3,300,000	1,700,000
レジオネラ事業費	5,000,000	5,000,000	0
サーベイランス費	17,320,000	25,700,000	△ 8,380,000
書籍等販売事業費	1,651,970	2,060,000	△ 408,030
委員会費	1,600,000	11,000,000	△ 9,400,000
給料手当	38,800,000	31,040,000	7,760,000
退職給付費用	7,401,100	9,273,200	△ 1,872,100
福利厚生費	5,820,000	4,850,000	970,000
旅費交通費	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
通信運搬費	3,050,000	2,003,000	1,047,000
消耗品費	1,655,000	600,000	1,055,000
印刷製本費	500,000	500,000	0
業務委託費	3,841,200	1,067,000	2,774,200
賃借料	4,171,000	3,977,000	194,000
諸謝金	3,322,000	3,516,000	△ 194,000
租税公課	4,850,000	0	4,850,000
雑費	1,500,000	1,500,000	0
管理費	8,079,700	11,786,800	△ 3,707,100
給料手当	1,200,000	960,000	240,000
退職給付費用	228,900	286,800	△ 57,900
福利厚生費	180,000	150,000	30,000
会議費	500,000	700,000	△ 200,000

旅費交通費	1,500,000	1,000,000	500,000
通信運搬費	3,000,000	2,500,000	500,000
消耗品費	395,000	350,000	45,000
印刷製本費	500,000	500,000	0
業務委託費	118,800	33,000	85,800
賃借料	129,000	123,000	6,000
諸謝金	78,000	84,000	△ 6,000
租税公課	150,000	5,000,000	△ 4,850,000
雑費	100,000	100,000	0
経常費用計	281,425,261	268,633,000	12,792,261
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,056,861	△ 19,259,100	△ 797,761
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 20,056,861	△ 19,259,100	△ 797,761
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 20,056,861	△ 19,259,100	△ 797,761
法人税、住民税及び事業税	150,000	150,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 20,206,861	△ 19,409,100	△ 797,761
一般正味財産期首残高	443,507,313	438,438,684	5,068,629
一般正味財産期末残高	423,300,452	419,029,584	4,270,868
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	5,000,000	12,200,000	△ 7,200,000
一般正味財産への振替額	△ 5,000,000	△ 12,200,000	7,200,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,868,451	48,702,753	165,698
指定正味財産期末残高	48,868,451	48,702,753	165,698
III 正味財産期末残高	472,168,903	467,732,337	4,436,566

2025年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)
2025年4月1日～2026年3月31日

表6-2

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	化学療法向上事業	書籍販売事業	化学療法普及事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0				0	500	500
基本財産利息収入	0				0	500	500
特定資産運用益	11,000		1,000		1,000	1,000	13,000
特定資産利息収入	11,000		1,000		1,000	1,000	13,000
受取会費	37,937,000				0	37,937,000	75,874,000
正会員会費収入	35,550,000				0	35,550,000	71,100,000
賛助会員会費収入	2,387,000				0	2,387,000	4,774,000
事業収益	157,413,400	3,827,500	16,440,000	0	20,267,500	0	177,680,900
学術集会開催収入	71,180,000				0	0	71,180,000
支部学術集会開催収入	58,180,000				0	0	58,180,000
学会誌等刊行収入	14,613,400				0	0	14,613,400
論文著者負担金	3,000,000				0	0	3,000,000
広告掲載料収入	350,000				0	0	350,000
和文誌購読料収入	2,000,000				0	0	2,000,000
ガイドライン関連収入	8,263,400				0	0	8,263,400
雑収入	1,000,000					0	1,000,000
資格認定収入	6,470,000		16,440,000		16,440,000	0	22,910,000
サーベイランス事業収入	6,970,000				0	0	6,970,000
書籍等販売事業収益		3,827,500			3,827,500	0	3,827,500
受取寄付金	5,000,000		2,600,000		2,600,000		7,600,000
受取寄付金	0		2,600,000		2,600,000		2,600,000
指定正味財産振替額	5,000,000						5,000,000
雑収益	50,000				0	150,000	200,000
受取利息	50,000				0	50,000	100,000
雑収益	0				0	100,000	100,000
経常収益計	200,411,400	3,827,500	19,041,000	0	22,868,500	38,088,500	261,368,400
(2) 経常費用							
事業費	251,565,391	5,911,370	15,868,800	0	21,780,170		273,345,561
学術集会開催費	71,180,000				0		71,180,000
支部学術集会開催費	58,180,000				0		58,180,000
学会誌等刊行費	21,503,291				0		21,503,291
印刷費	6,000,000				0		6,000,000
発送費	1,500,000				0		1,500,000
編集費	4,940,000				0		4,940,000
英文誌刊行費	8,000,000				0		8,000,000
ガイドライン関連費	1,063,291				0		1,063,291
教育事業費	12,500,000		2,000,000		2,000,000		14,500,000
学術奨励費			5,000,000		5,000,000		5,000,000
レジオネラ事業費	5,000,000				0		5,000,000
サーベイランス費	17,320,000				0		17,320,000
書籍等販売事業費		1,651,970			1,651,970		1,651,970
委員会費	1,600,000				0		1,600,000
給料手当	31,600,000	2,400,000	4,800,000		7,200,000		38,800,000
退職給付費用	6,027,700	457,800	915,600		1,373,400		7,401,100
福利厚生費	4,740,000	360,000	720,000		1,080,000		5,820,000
旅費交通費	2,500,000				0		2,500,000
通信運搬費	3,000,000	0	50,000		50,000		3,050,000
消耗品費	1,385,000	90,000	180,000		270,000		1,655,000
印刷製本費	500,000				0		500,000
業務委託費	3,128,400	237,600	475,200		712,800		3,841,200
賃借料	3,397,000	258,000	516,000		774,000		4,171,000
諸謝金	2,554,000	156,000	612,000		768,000		3,322,000
租税公課	3,950,000	300,000	600,000		900,000		4,850,000
雑費	1,500,000				0		1,500,000
管理費						8,079,700	8,079,700
給料手当						1,200,000	1,200,000
退職給付費用						228,900	228,900
福利厚生費						180,000	180,000
会議費						500,000	500,000
旅費交通費						1,500,000	1,500,000
通信運搬費						3,000,000	3,000,000
消耗品費						395,000	395,000
印刷製本費						500,000	500,000
業務委託費						118,800	118,800
賃借料						129,000	129,000
諸謝金						78,000	78,000
租税公課						150,000	150,000

雑費						100,000	100,000
経常費用計	251,565,391	5,911,370	15,868,800	0	21,780,170	8,079,700	281,425,261
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 51,153,991	△ 2,083,870	3,172,200	0	1,088,330	30,008,800	△ 20,056,861
他会計振替額	1,351,571	0	△ 1,351,571		△ 1,351,571	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 49,802,420	△ 2,083,870	1,820,629	0	△ 263,241	30,008,800	△ 20,056,861
法人税、住民税及び事業税					0	150,000	150,000
当期一般正味財産増減額	△ 49,802,420	△ 2,083,870	1,820,629	0	△ 263,241	29,858,800	△ 20,206,861
一般正味財産期首残高							443,507,313
一般正味財産期末残高							423,300,452
II 指定正味財産増減の部							
受取寄付金	5,000,000						5,000,000
一般正味財産への振替額	△ 5,000,000						△ 5,000,000
当期指定正味財産増減額	0				0	0	0
指定正味財産期首残高							48,868,451
指定正味財産期末残高							48,868,451
III 正味財産期末残高							472,168,903

第3号議案 次期会長承認の件

第74回総会会長 柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野）

会期：2026年5月22日（金）～24日（日）

会場：東京国際フォーラム

テーマ：Pioneering Our Next Hundred Years

第4号議案 次々期会長候補者推薦の件

2027年に開催される第75回総会の会長候補者は、2024年6月28日の総会で時松一成理事（昭和医科大学医学部内科学講座臨床感染症学部門）を推薦することが決定している。

第5号議案 次々期総会開催地及び会期の件

会期：2027年5月13日（木）～15日（土）

会場：札幌コンベンションセンター

第6号議案 名誉会員推薦の件

名誉会員候補者

門田 淳一（長崎みなとメディカルセンター）

金子 明寛（池上総合病院）

清田 浩（井口腎泌尿器科・内科 新小岩）

堀 誠治（東京慈恵会医科大学感染制御部）

三笠 桂一（奈良厚生会病院）

その他